

プレスリリース
報道関係者各位

2017年10月5日

CYBERDYNE 株式会社
株式会社志成データム

**健康長寿社会を目指し、CYBERDYNE と志成データムが業務・資本提携
～ 血管情報の測定管理により、生活習慣病の予防ビジネスを強化・加速 ～**

CYBERDYNE 株式会社（茨城県つくば市、代表取締役社長：山海嘉之、以下 CYBERDYNE 社）と株式会社志成データム（東京都町田市、代表取締役：斎藤之良、以下 志成データム社）は、血管情報の測定管理を通じて、脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病の予防ビジネスを強化・加速するための業務提携および資本提携（CYBERDYNE 社から志成データム社への資本出資）を行いましたので、お知らせいたします。

超高齢社会においては、加齢による病気の予防が重要課題となっています。日本においては、死亡及び寝たきりの原因の約3割が脳卒中や心筋梗塞などの循環器疾患となっており、これらの疾患は、生活習慣病によって速まる動脈硬化の進行の結果引き起こされることから、日常的な血管情報の測定管理を通じて生活習慣病を予防することは、健康寿命を伸ばしてゆくために急務となっています。

本提携により両社は、医療・介護福祉・生活（職場を含む）等の様々な分野において連携を図り、健康長寿社会を目指してまいります。志成データム社は、医療用の電子血圧計等の設計・開発・製造に関するノウハウと実績を多数有しております。CYBERDYNE 社は、既に手のひらサイズの動脈硬化度・不整脈計測用バイタルセンサーを開発し、PMDA（医薬品医療機器総合機構）との相談を経て、医療機器化に向けて各種手続きを進めておりますが、志成データム社との連携により今後更なる多機能化等、バイタルセンサー事業を一層強化・加速してまいります。なお、CYBERDYNE 社のバイタルセンサーは病院・家庭・職場などの場所を問わず日常的に IoH（Internet of Humans）ネットワークで繋がり、脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病を予防するためのコアデバイスとなるものです。本連携により、両社は、人生100年時代においても誰もが健やかで快適な生活を長く営める健康長寿社会の実現と、逼迫する医療財政や重介護など社会問題の解消に引き続き貢献してまいります。

<CYBERDYNE 株式会社について>

CYBERDYNE 株式会社は、2004年に筑波大学発ベンチャーとして設立されて以来、サイバニクス技術を活用した革新的サイバニクスシステム（サイバニクスデバイス、サイバニッ

クインタフェースなど)により、社会が直面する様々な課題を解決することを目指し、研究開発から社会実装に至るまで一貫して推進しています。医療、福祉、生活(職場環境を含む)分野での事業推進を行い、主力製品のロボットスーツ HAL®は、医療・福祉の分野のみならず、介護や重作業分野等にも幅広く展開されています。また、人工知能・環境認知機能を搭載した搬送ロボット・清掃ロボット、腰部負荷を低減する HAL 腰タイプ、小型の単関節 HAL、動脈硬化度・不整脈計測用バイタルセンサーなど、次々と新製品開発を進めています。

詳細については、<https://www.cyberdyne.jp/> をご参照ください。

<株式会社志成データムについて>

株式会社志成データムは 1988 年に TV の開発技術者 3 名が集まって、無線データ通信機器や TV 会議システム、血圧計などの電子機器の受託開発を請け負う企業として創業しました。その後、独自の非侵襲血管バイオマーカーの研究開発に取り組み、2004 年からは産総研、理研などの国の研究所との共同研究により、座位・片腕で簡便に動脈硬化リスクを評価できる画期的な二つの血管機能指標 API(Arterial Pulse Volume Index)と AVI (Arterial Velocity Pulse Index) の開発に成功し、2012 年に薬事承認を得て製品化しました。高齢化社会に向けたヘルスケア分野のキーデバイスとして、国内外の医療施設を中心に導入が進んでいます。詳細については、<http://www.shisei-d.co.jp> をご参照ください。

お問い合わせ先

CYBERDYNE 株式会社 広報・IR 担当 TEL: 029-869-9981

株式会社志成データム 広報担当 TEL: 042-798-4711